

彼女の
「ママ
カッ
プ」は





いらっしやい
ませー。



あ……！
はい。

かな……いや、
内田さん。
そろそろ上がるっか。



ふう……。

もう
こんな時間か。



チラッ





明日バイト
休みだよな。
も…もしよかったら

この後ママが
一緒に家で晩ごはん
食べないって
言ってるんだけど…

可奈美の
お母さんか…
まだ会った事無いし
緊張するなあ…

そ…
それでね…

遅くなっちゃうから
家に泊まってもらっても
いいんだけど…

お…お泊り!?
これは…
誘っているのか?

だったら…

行かざる
おえない…!!

可奈美の家来るの
初めてだから
楽しみだよ!

ただいま。

ホントはスゲー
緊張するけど…

うふふ

おかえり
可奈美。

初めまして
兼人さん。
可奈美の母の
橙子です。

ど…
どうも…
初めまして…

このひとが可奈美の
お母さん…

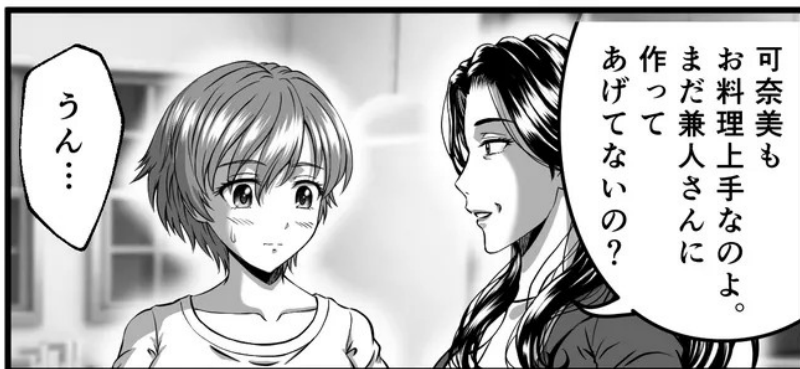
ペゴッ



50歳って
聞いてたけど…
若い！

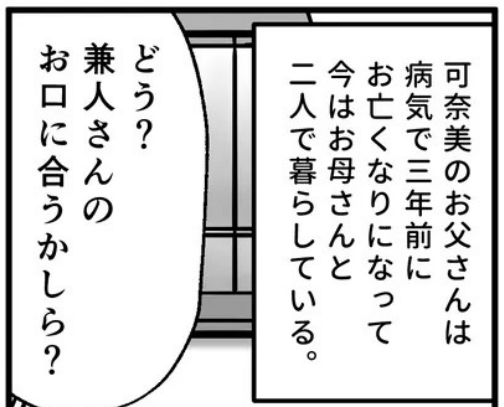
そしてでかい…ッ！
これは…
可奈美以上…！
さすがは母親。

さあどうぞ中へ。



可奈美も
お料理上手なのよ。
まだ兼人さんに
作って
あげてないの？

うん…



可奈美のお父さんは
病気で三年前に
お亡くなりになって
今はお母さんと
二人で暮らしている。

どう？
兼人さんの
お口に合うかしら？

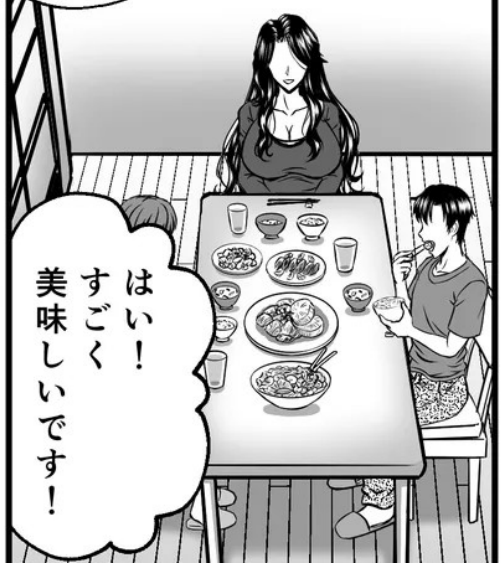


そっかあ。
それは楽しみ
だなあ

でも…
今夜は…

ガサッ

ちよ…
ちよっと…
兼人くん…っ！



はい！
すごく
美味しいです！

俺が
料理する
番だ！

ぷるんっ

だ…
ダメだよ…



そんなに
激しくしたら…
聞こえちゃう…！

もう寝てるよ…
それに…

そんなに
激しくはしてない
けどなあ

ひあああんっ…！

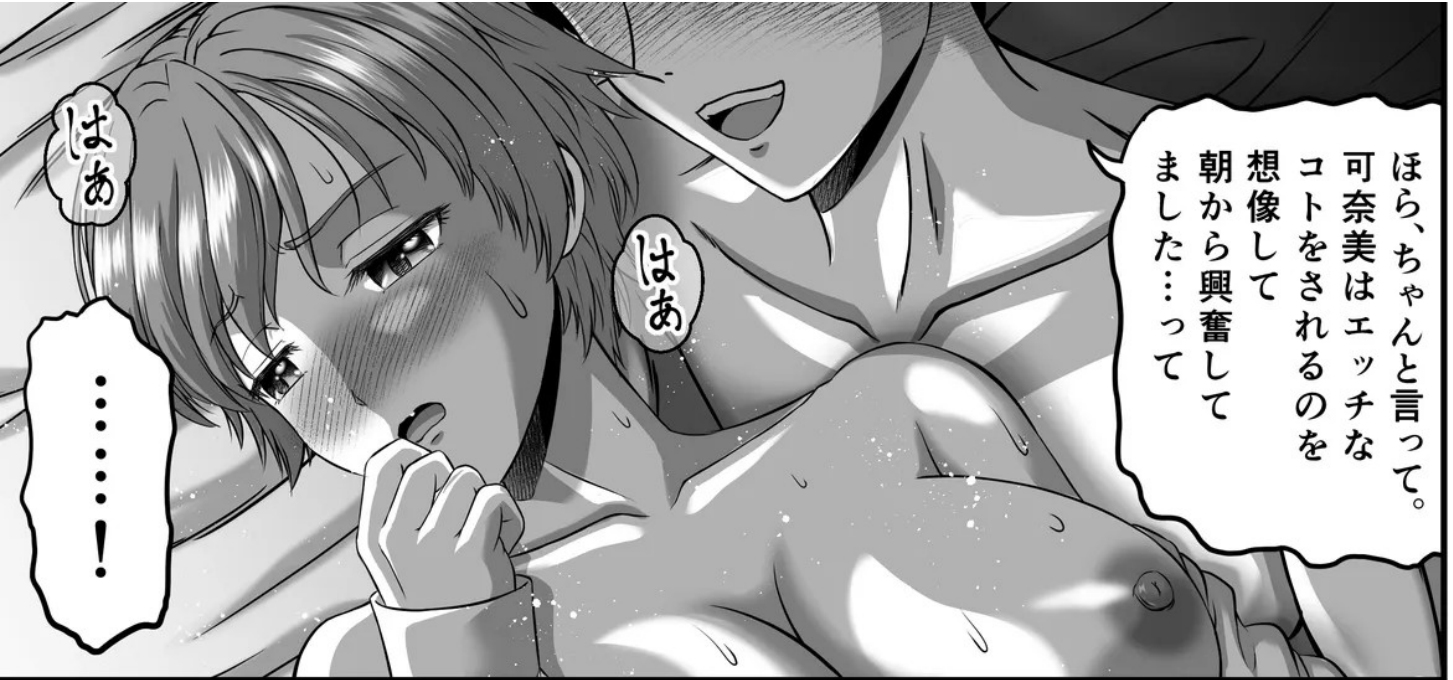
ムム

ピチャ









か…可奈美は…
エッチなコトを…
さ…されるのを…
想像して…

はあ

はあ

朝からいっぱい
興奮して
ましたあっ!!

ビュ
ビュ
ビュ





ふはあ……!

たろっ

次は……

はあ

はあ

こういう
のが……

ム
ザ
エッ

いいんだよね
……?







ひああああんっ!!

ビクン

ド
ン

ビクン

ド
ン

なかなか
腔に…
腔に出てるう…!!



はあ

はあ

いつでも
私のなか腔に出しても…

……いいよ。
兼人くんだったら…

ドロ



ハア

ハア

ハア

ハア



か…可奈美…！

そんな
可愛いコト
言われたら…また！

ガニッ

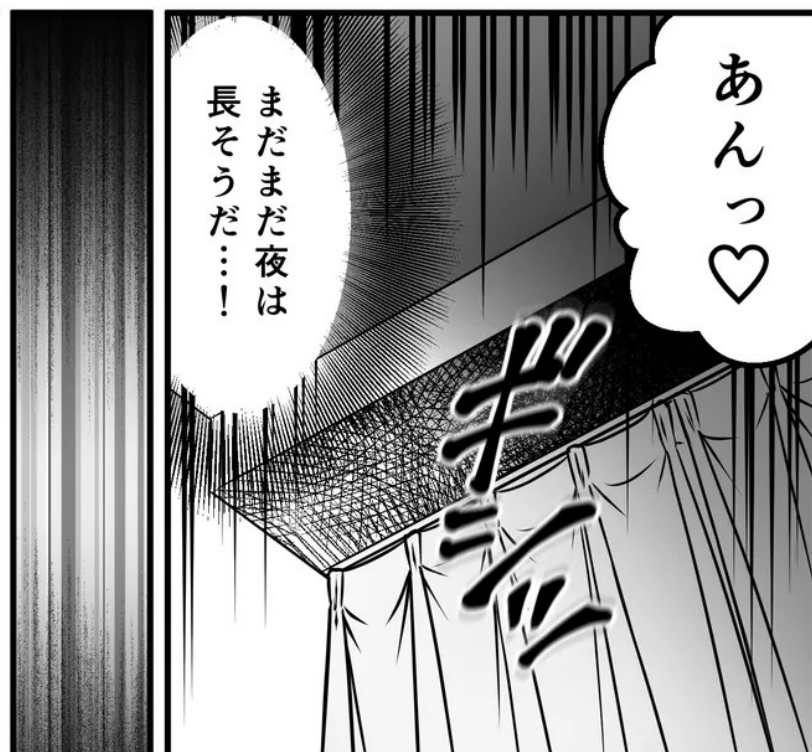


その頃——

はあん♡

んっ
んっ
んっ！

もぞ



あんっ♡

まだまだ夜は
長そうだ…！

ガニッ



そ…
そこはダメ…!

やあんっ

ハア

ハアッ

もうっ…
全部
丸聞こえよ…!



こんなに興奮
しちゃうなんて…
信じられない…

んうっ

くう…ッ!

ぎゅっ

ビュッ

ビュッ



何年も
そういうコト
してないから…

興奮しちゃった
じゃないの…!!

ビュッ



ふうっ！
ううううウツ！
んん…ツ!!!



あ…
イキそ…
イク、イク…!!

ダメエ…ツ！

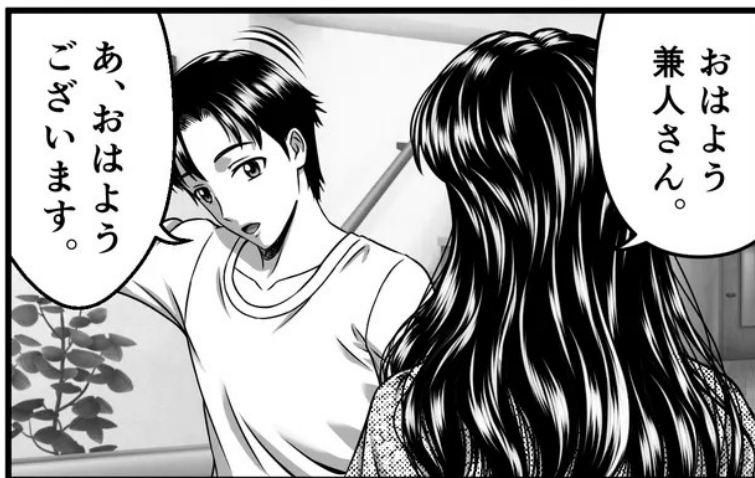


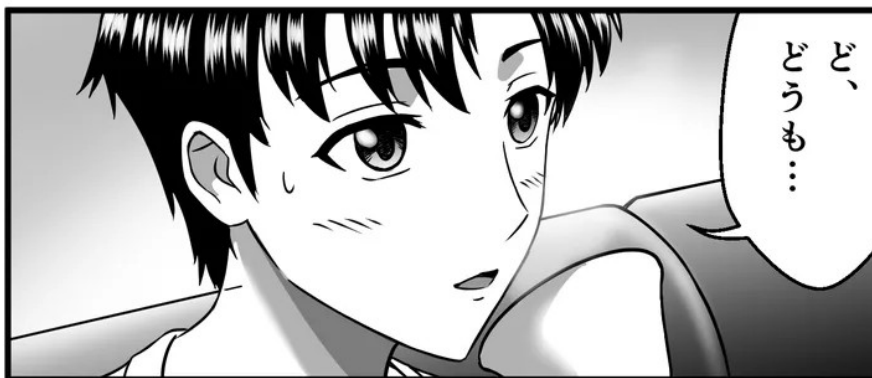
声が…
出ちやううツ!!

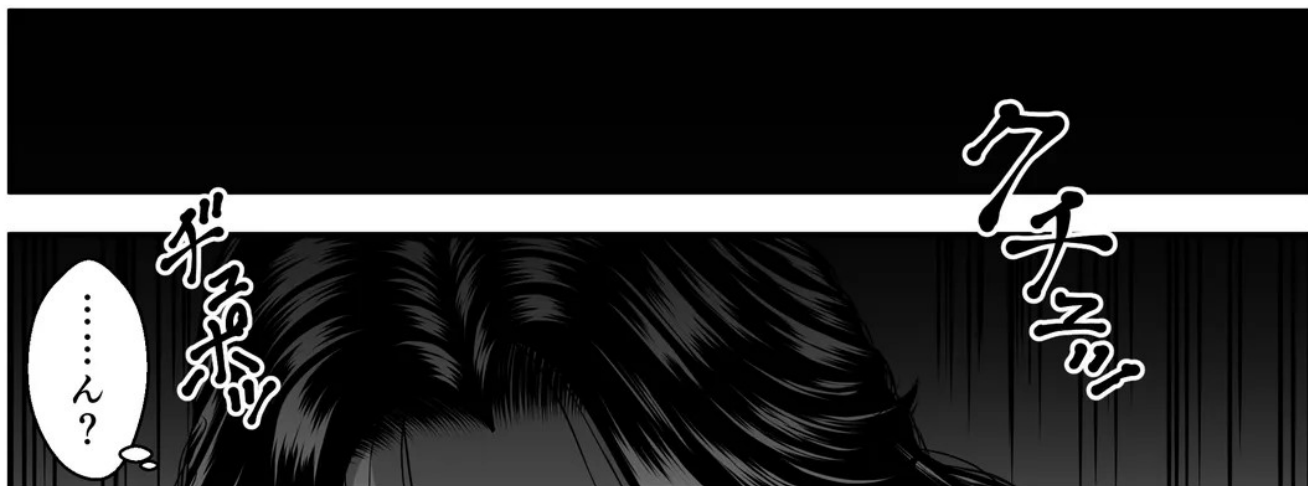
ふうっ…
んんツ!!

ガッ











お…お母さん！
な…何をなさって
るんですか…！



はあ…
久しぶりの
チンポおいしい…

ハア

ハア

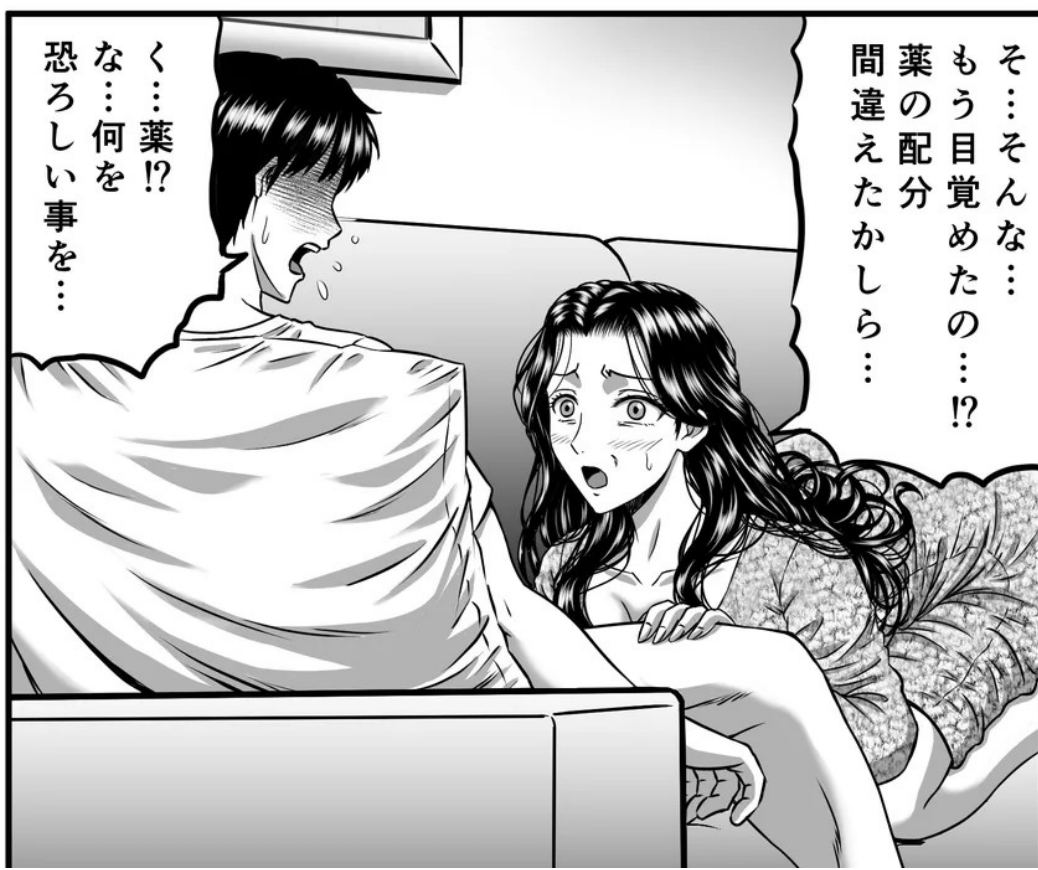


昨日はあんなに
激しい声
出してたのに…

もうこんなに
硬くなってる…
若いつていいわねえ…



こ…これは…
その…



く…薬!?
な…何を
恐ろしい事を…

そ…そんな…
もう目覚めたの…!!
薬の配分
間違えたかしら…

あ…あなた達が
悪いのよ…!!
あんな大きな声で
私に聞こえる
ようにするから…

えっ!?

や…
やっぱり
聞こえて
たのか…!

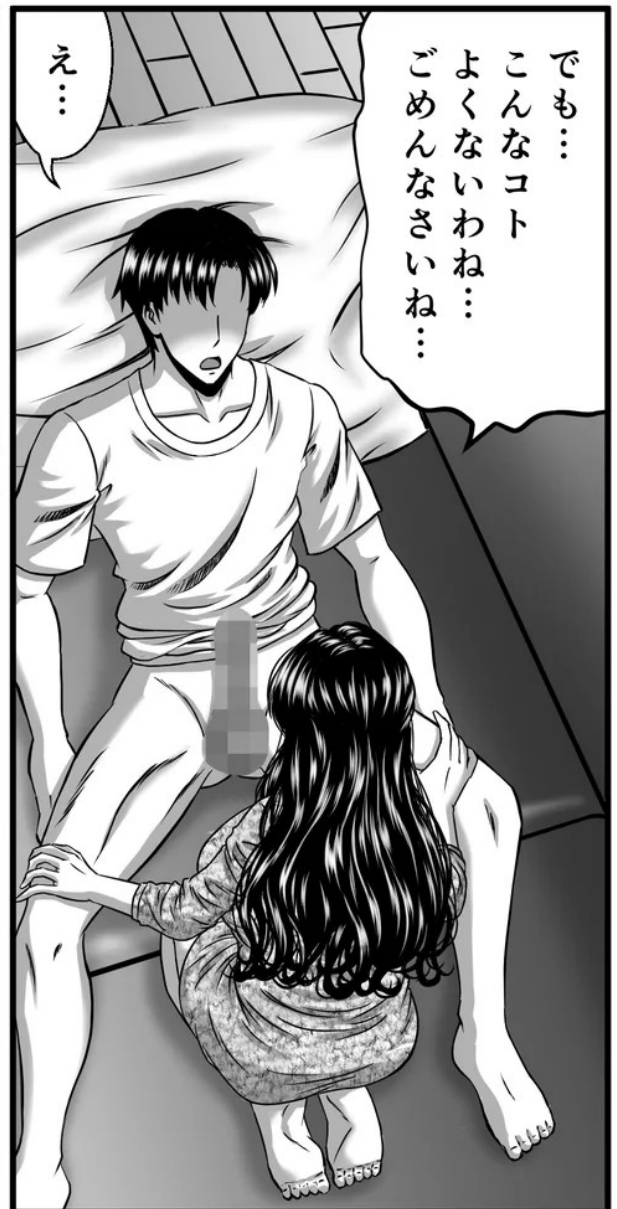
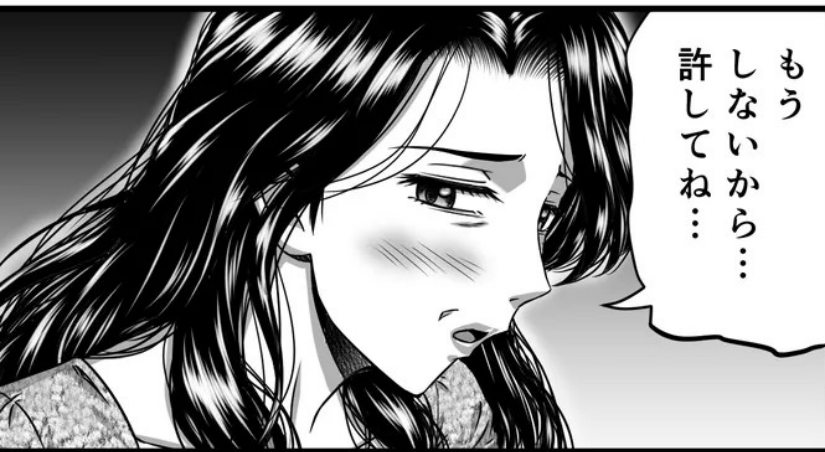
あんなに
激しい声で…
想像しちゃった
じゃない…

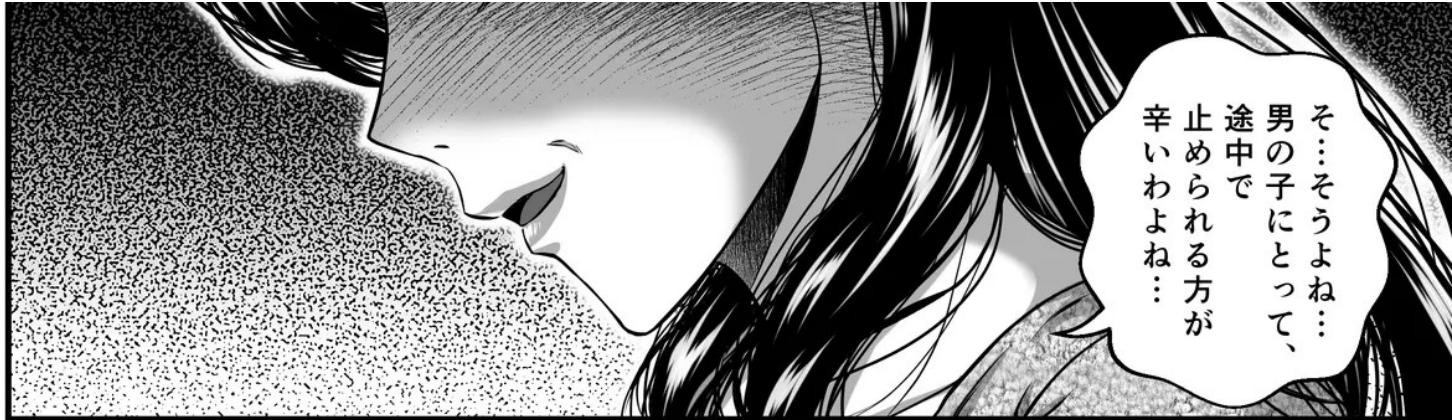
チラッ

あなたのペニスが…
どんなモノかを…

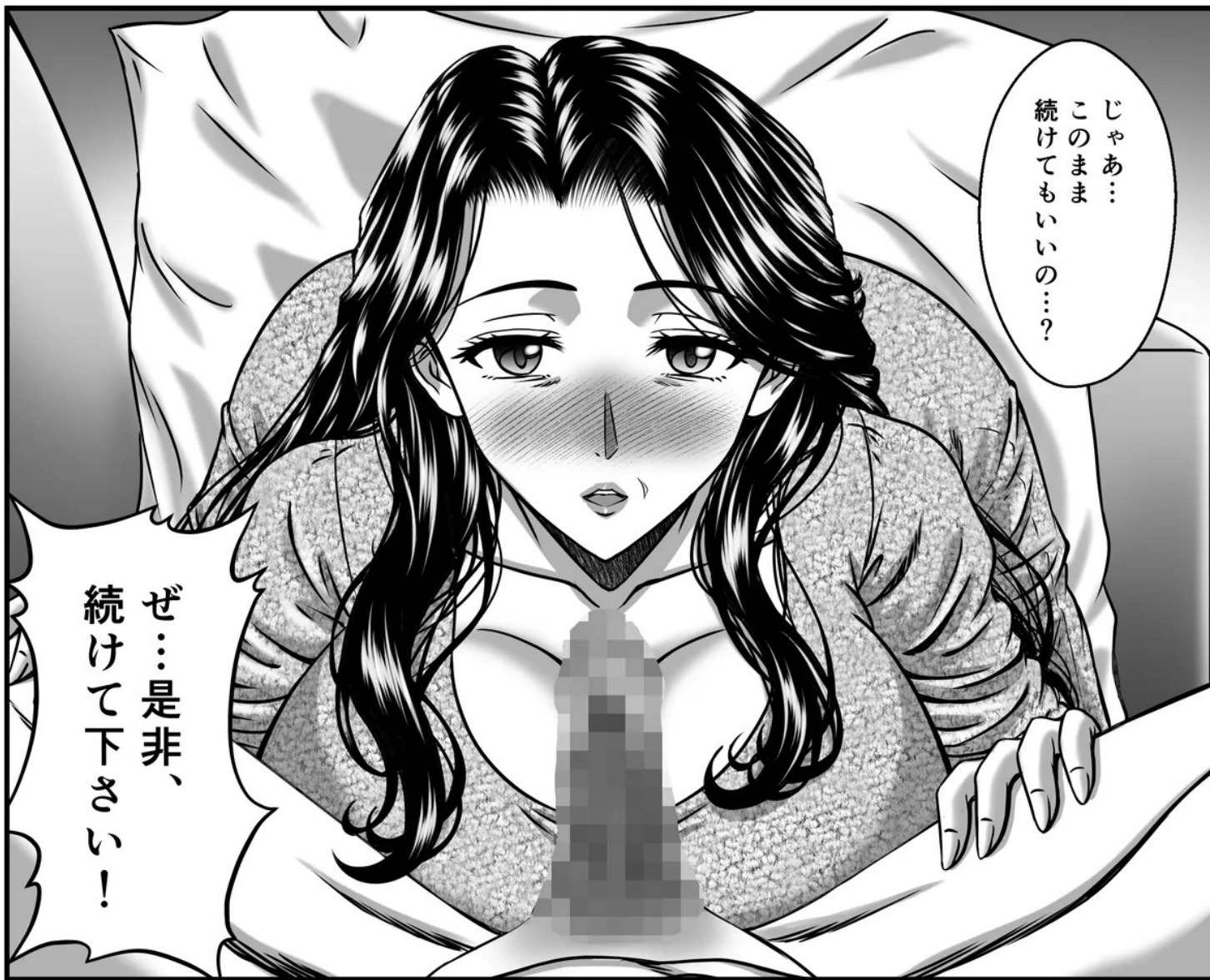
!

グイッ





そ…そうよね…
男の子にとって、
途中で
止められる方が
辛いよね…



じゃあ…
このまま
続けてもいいの…？

ぜ…是非、
続けて下さい！



じゃあ…
責任を持って…
最後まで
やらせて
もらうわ…

クニシ





内気な可奈美と似ても似つかない大胆さ…！

これが大人のオンナの魅力って奴か…！

しゅっ
しゅっ

シリシリ



こんな感じでいいのかしら…？
口でするのなんて久しぶりで…

ハア

ハアッ

はいっ…
すごく上手です
お母さま…！



ハア

ハア

ズッ
あっ

ああん！
すごい硬さ…
素敵♥





ふうん…
こういうのが
好きなのね。
色々考える
わねえ…

あつ…
は、はい…っ

ミ
ニ
ム
ル
サ
わ
っ



これは
あの子は
可奈美には
できないものね。

私の髪で
気持ちよくなって
もらえたら
私も嬉しいわ♥

ピ
チ
ン
ン
ン
グ
イ
ッ



あら、先っぽから
エッチなお汁が
いっぱい出てる…。

グ
ミ
ミ
じゅわっ

あゝあ、
髪がグシヨグシヨに
なっちゃった…



興奮してるの？
私の髪、
気持ちいい？

はあ

はあ

あ…
うう…！

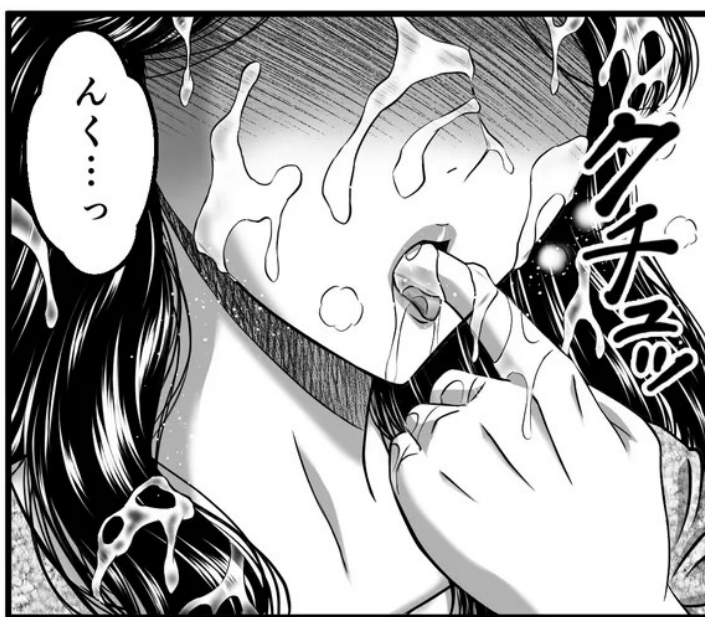
お…お母さ…
いや、と…

橙子…さんっ！

え…っ

ピュッ







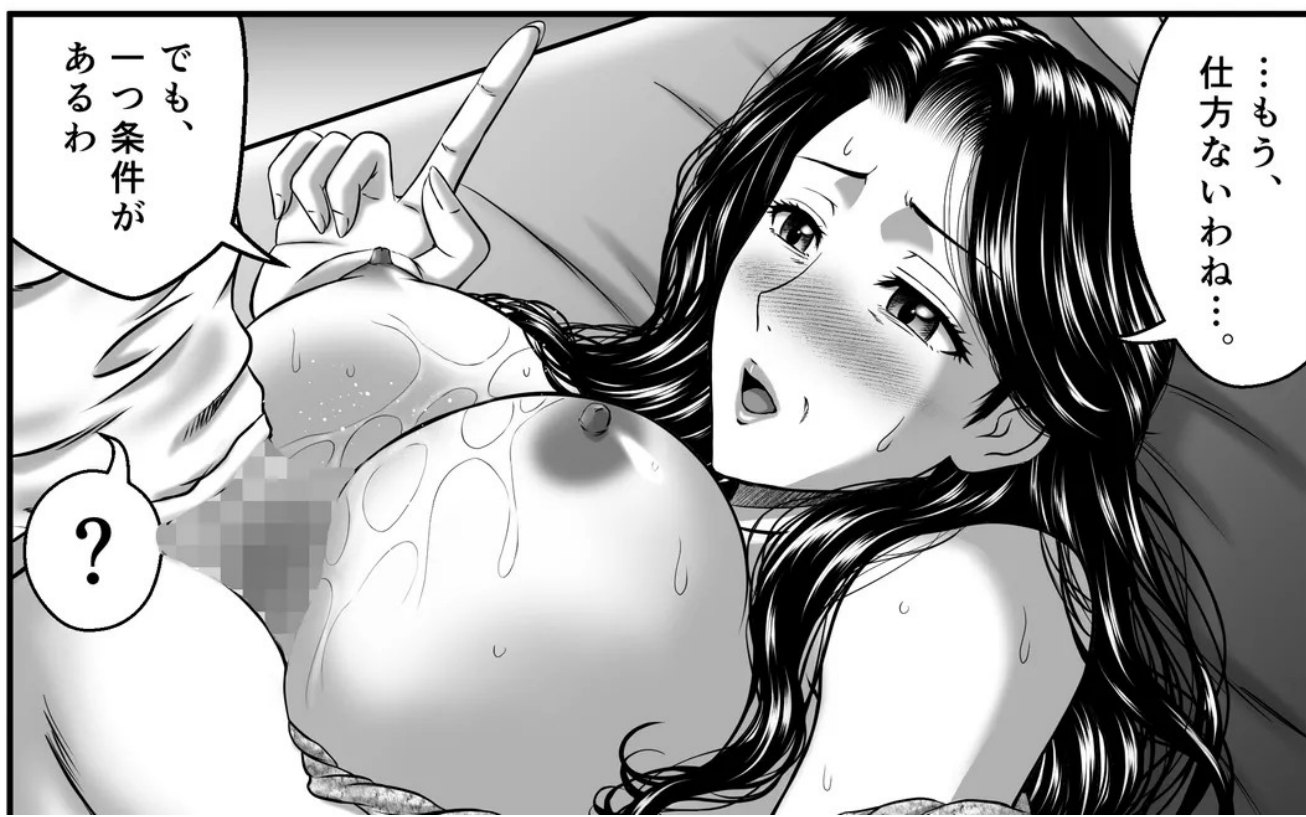


だったらもう、
俺の言う通りに
なるしか
ないんじゃない
ですか…？



こんな事、
可奈美に知れたら
お母さまの方が
困るんじゃないですか？

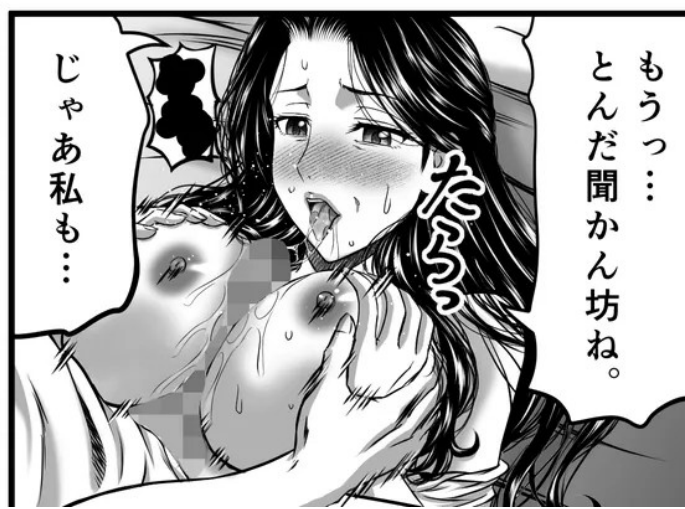
そ、それは…



…もう、
仕方ないわね…。

でも、
一つ条件が
あるわ

？







そ…、
それは…

確かに
胸のサイズは
橙子の方が
大きい…が、

橙子…
と言いたい所だけど、
可奈美の方が
もっと愛情を込めて
やってくれた
気がする…

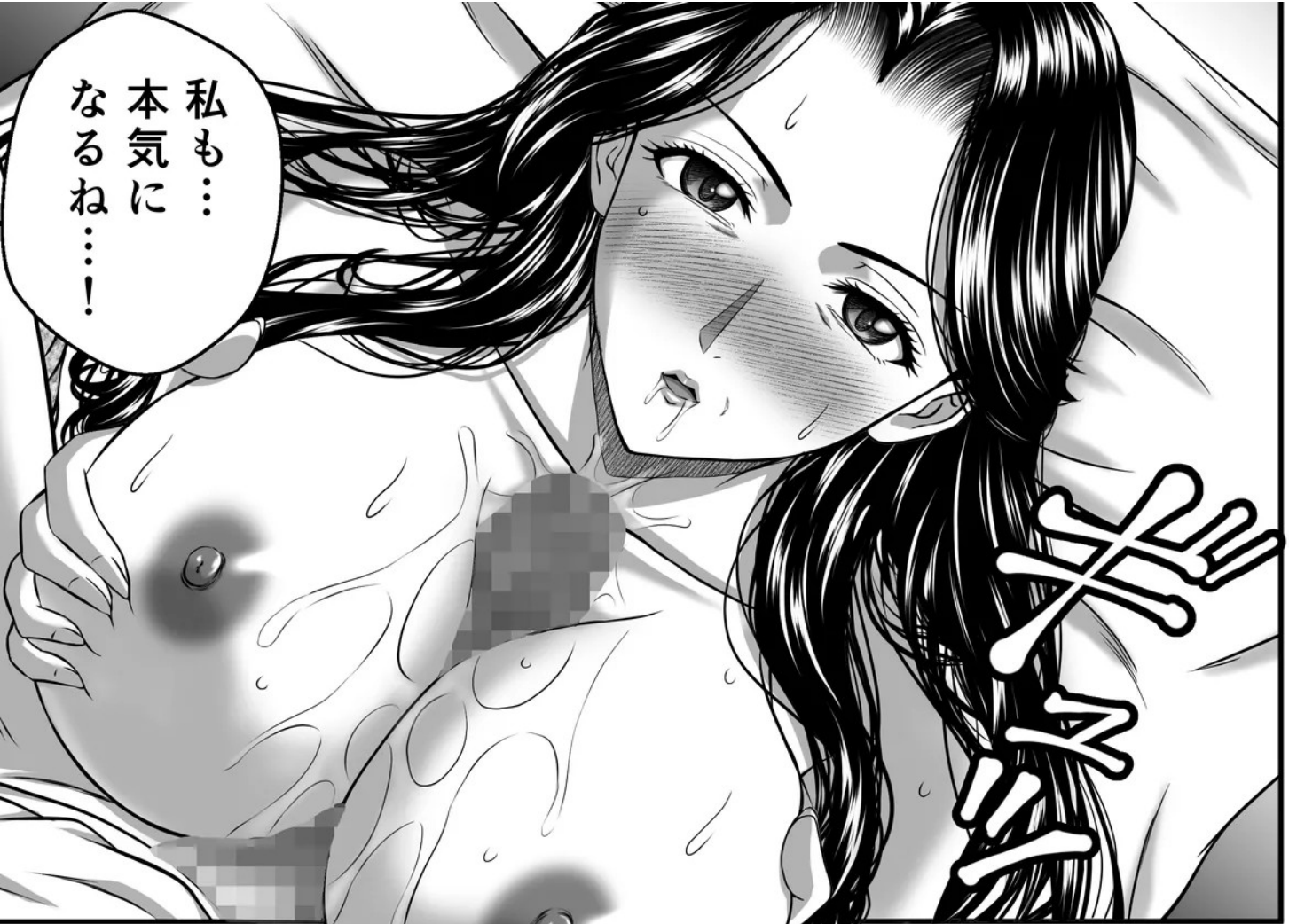


わ…私だって…
ほ…本気になって…
いいの？



本気？
それは願ったり
叶ったりだけど…？

も…もちろん！
こんな事…
本気じゃないと
できないよ！









もう満足した...?



はあ

んーっ...
さっき射精した
ばかりなのに...
すごいわね...

はあ

ビチャ

グレッシュ



うん...
でも今度は...

えっ?

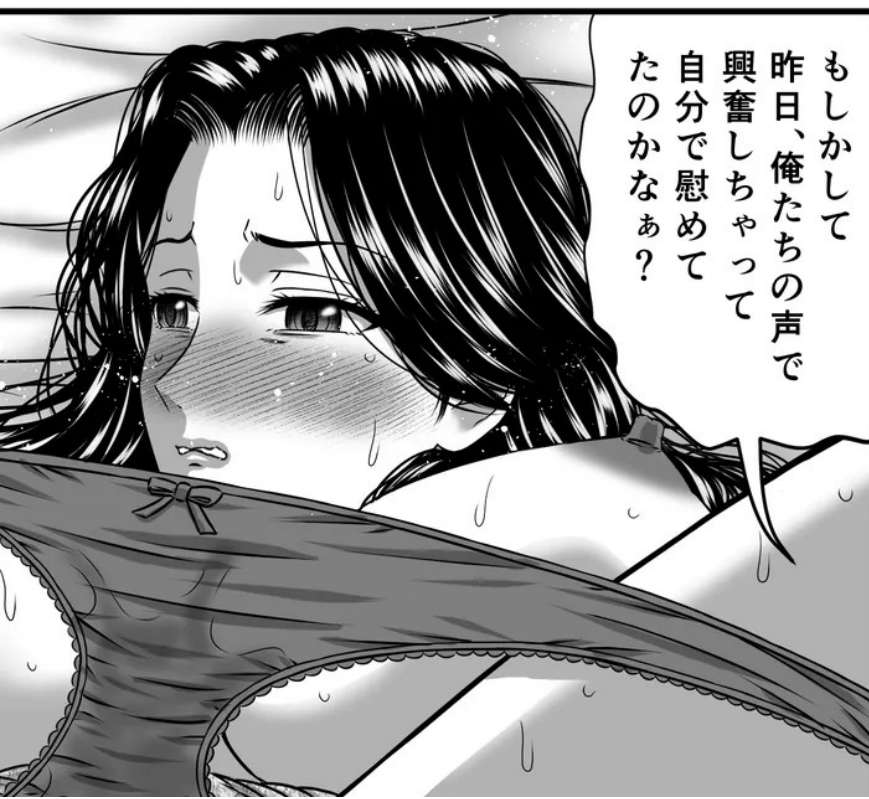


俺が橙子のコト
満足させないとね!

あ...っ!
ちよつと...
きやつ!

たろろ...

とろ...



あれ〜
どうして
答えられない
のかなあ？

モニッ

ムニッ

……ッ

もうっ…
意地悪っ！

プ
イッ

ふふっ。
こんな感じで
してたのかな？

ニャ
アッ

ああっ！

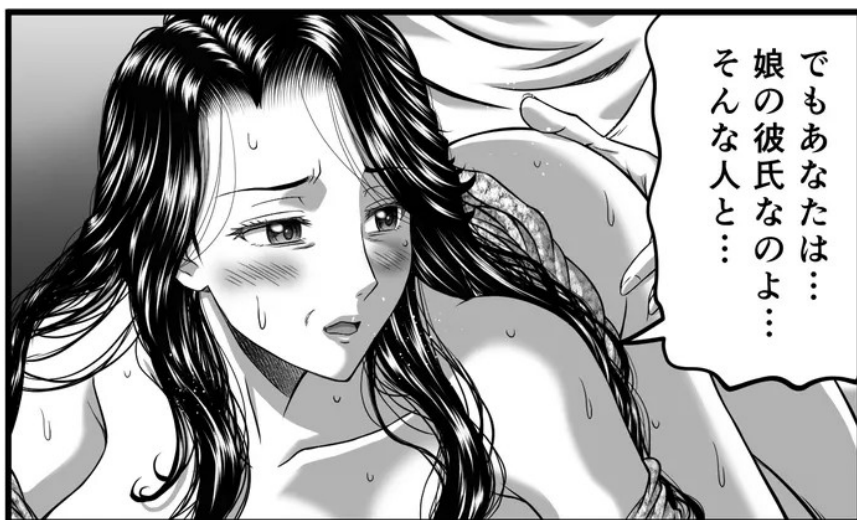




それは…
ダメよ！
これ以上は…っ



ああっ！
け…兼人
…ダメエ！



でもあなたは…
娘の彼氏なのよ…
そんな人と…



ここまで来て…
途中で
やめられないよ！



た…確かに
可奈美の事は
好きだけど…

はあ

ん…っ

はあ

それ以上に…
可奈美の事を
産んでくれた
橙子の事が
愛おしい…！

ダメエ…ッ





あああああああッ!!

そ…
そんなに激しく…
あッ!

ダメえっ!
おかしく
なっちゃううッ!



ギョッ

ギョッ

パッ

パッ

か…快樂が
押し寄せて…
理性が…

と…とろけ
ちゃうううッ…!



どう橙子、
まだやめて欲しい？

え…じゃあ
どうして
ほしいの？

…ダメ…
や…やめないで…

もっと…
もっと激しく
突いてええっ！！



やっぱり橙子と
可奈美は似ている…
快楽に従順で抗えない…！！

それに…
可奈美以上に
相性もバッチリだ…
これはこっちも快楽で
どうにかなりそうだ…！！







なんて
可愛いんだ!!

んはあッ!



自分の娘に
ヤキモチ焼いて…
ここまで
積極的になるなんて…

ああんっ

んううっ

んっ



うう…ッ!
で…射精する!!



橙子! イクよ!
お望み通り:
なか
腔に…!

来てエ…!
来てエエッ!
腔にイツ!!

はあアッ

アアアアアッ
!!!

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

なか
腔に
出てるう...ッ!!



う…っ

勢いでして
しまったが…
どうしよう…



ハーツ

ビグッ

ビチャ

ドロ…

ハーツ

ビグッ

ほ…ほんとに
なか
腔に射精しちゃう
なんて…
イケナイ人ね…



これは
二人だけの
ヒ…ミ…ツ…ね!



え…っ

大丈夫よ…
もうそんな歳じゃ
ないんだから…



も…
もちろん…!



数週間後—

バイト早番
だから先に
行くね

いって
らっしゃい

